

2020年8月26日

フエ市

フエはトゥア・ティエン・フエ省の省都で、ハノイから南に約 700 キロ、ホーチミンから北に約 1000 キロのベトナム中部に位置しています。日本から行くにはダナン経由となり（直行便が飛んでいます）、ダナンからフエは約 105 キロの距離なので、車で 1 時間半ほどです。3 世紀にわたり 3 つの王朝の首都が置かれ、特にベトナム最後の王朝である阮（グエン）朝（1802-1945）が隆盛した歴史ある都として有名な古都です。ここには 1993 年に「フエの建造物群」がユネスコの世界遺産（文化遺産）に、2009 年に宮廷芸能であるニャーニャック（雅楽）が無形文化遺産として登録されました。宮廷文化の粋を極めたフエは、今日のベトナムにとって国家的アイデンティティの象徴の一つといえます。



トゥア・ティエン・フエ省が立案した 2030 年までのフエ市の都市空間開発提案と 2050 年に向けてのビジョンには、フエ市を現在（面積の 70.67 平方キロメートル）の 5 倍に拡大させる計画があります。フエ市には河川、山、丘、海など様々な地形があることに加え、歴史的な都市と

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

しての特徴があることから、同計画により文化、医療、教育、科学技術の中心地として機能するだけでなく、文明的かつ生態環境が豊富で環境にも優しい遺産都市になる見込みです。

◆ 経済について

2019年のトゥア・ティエン・フエ省の域内総生産（GRDP）は約51兆3,220億ドン（約22億1,200万ドル）に達し、GRDP成長率は7.18%です。一方、フエ市のGRDPは43兆4,430億ドン（約18億7,300万ドル）で、その成長率（推計値）はトゥア・ティエン・フエ省全体より高い8.6%水準です。フエ市の経済指標は以下の通りです。

図表 1:フエ市の経済指標

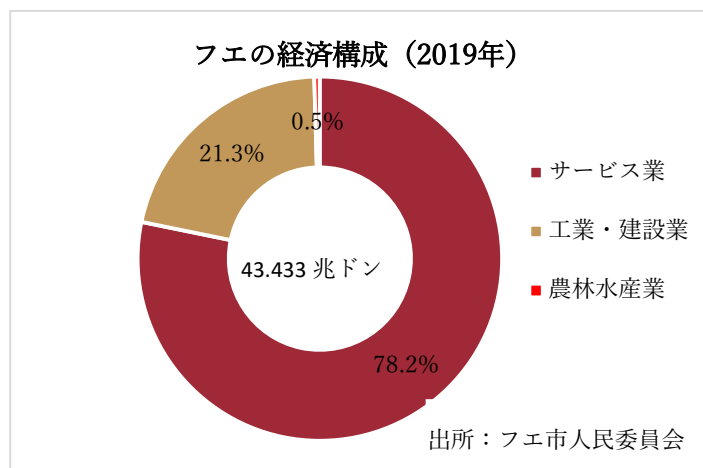
経済指標	2019年	前年比	2020年目標
総社会投資額	53兆ドン (約2.3億ドル)	10.42%	57.7兆ドン (約2.5億ドル)
輸出額	150百万ドル	15.38%	180百万ドル
サービス業の売上高	340兆ドン (約14.7億ドル)	13%	384兆ドン (約16.6億ドル)
工業生産価値	92.4兆ドン (約4.0億ドル)	12.08%	99.7兆ドン (約4.3億ドル)
一人当たりの収入	2,750ドル/人	8.57%	2,800ドル/人
観光客数	3百万人	11.5%	
観光収入	31.9兆ドン (約1.4億ドル)	16%	36.3億ドン (約1.6億ドル)

出所：フエ市人民委員会

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

ベトナム通信 ～当社グループ現地スタッフによる最新情報～

フエ市の経済構成はサービス業に集中する方向に徐々に移行しています。2019年には、サービス業が前年比+13%の33兆9,830億ドンに達し、GRDPの78.2%を占めました。工業・建設業は、前年比+12%の9兆2,350億ドンでGRDPの21.3%を占めました。一方、農林水産業はわずか0.6%でした。



海外直接投資（FDI）について、トゥバイ・ティエン・フエ省は FDI 誘致で国内のトップ 10 の 1 つになりました。2020 年 7 月の時点で、同省は 121 件の FDI プロジェクトを誘致し、登録された総投下資本は 38.7 億ドルを超えましたが、この中でフエ市は大きな割合を占めています。現在、同省は日本、韓国、シンガポール等に向けて、外国直接投資誘致を促進しています。投資促進分野は、情報技術、フエ王宮群の文化的価値を利用する文化産業、観光サービス、不動産、工業地帯のインフラなどの分野です。その中で、フエ市は観光サービス、文化産業プロジェクト、フエ王宮群の文化的価値を利用するプロジェクトへの投資を誘致することに強みを持っています。

◆ 観光について

100 年間続いたベトナム最後の王朝「阮（グエン）朝」があったフエには、趣深い歴史を感じる貴重な建物が多く残されています。ホーチミン市やハノイ市と比べると人々は穏やかで、静かに暮らしているのが印象的で、近隣のホイアンとはまた違った古き良き町並みです。フエ市の宮廷文化、建築、宮廷料理、そして宮廷音楽は多くの観光客を魅了しています。また、同市では、年間を通してさまざまなイベント・祭礼が行われます。そのため、国内外から毎年たくさんの観光客が訪れています。フエ市の市民委員会のレポートによると、2019 年の観光収入は前年比+16%の3兆1,900億ドンと推定されています。

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

ベトナム通信 ～当社グループ現地スタッフによる最新情報～

フエは多くの観光スポットや美しい景色に恵まれています。



フエ王宮



フエ フェスティバル



古都フエの遺跡群: フオン川の兩岸に位置する。広大な敷地を有し、王朝時代からほぼ昔のままの姿を残している遺跡群で、一番外側は防衛機能を持つ区域で、その内側の第2区域に王宮が建ち、更にもその奥に紫禁城がある。王宮内には多くの寺院や皇帝廟が点在し、その側をフオン川がゆったりと流れている。



カイ・ディン帝廟: ベトナムフエ観光ならば、第12代カイ・ディン帝の墓所であるグエン王朝の帝廟の見学は欠かせない。皇帝の考案した帝廟のデザインはとても魅力的で、フエにある他の帝廟とは大きく雰囲気異なり一線を画している。



ランコービーチ: フエ市から南へ70キロ、ダナン市から北へ30キロ離れた所にある。森と白い砂浜、透き通った碧い海が魅力的な全長13キロのビーチ。ダイビング、登山、フィッシング、ジャングルツアーなどが人気で、シーフードも美味しい。

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

ベトナム通信 ～当社グループ現地スタッフによる最新情報～

フエ観光は、宮廷遺跡巡りだけではなく、フエの料理も楽しめると評判です。フエの料理は、中部料理の原点と言われ、一般的な国民食から宮廷料理にいたるまで様々な料理があります。色鮮やかで洗練されており、見栄えに拘っていることで知られています。特徴的な料理はコム・ヘン、ブン・ポー・フエ、バイン・ベオ、バイン・ボット・ロック、チェー・フエ王宮などです。



コム・ヘン



ブン・ポー・フエ



バイン・ベオ



バイン・ボット・ロック



チェー・フエ王宮



チェー・フエ

【写真提供：JVRC】

<http://www.capital-am.co.jp>

以上

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。